

# 「平成27年 こども環境会議ちば」報告



平成27年10月4日(日)、谷津干潟自然観察センターで千葉県のこどもエコクラブ交流会「こども環境会議ちば」が開催されました。千葉県内の5つのクラブメンバーとサポーター、さらに今回は東京都中央区からも1クラブが参加しての交流会となりました。秋晴れの中、他のクラブの友達と一緒に自然観察を行うなどクラブ同士の交流を通じて楽しいプログラムを満喫しました。

## 開会式

千葉県内の5つのクラブメンバーとサポーター、さらに東京都中央区からも1クラブが参加しました。千葉県も東京湾に面した地域のクラブや九十九里の外房にあるクラブなど様々なところから元気な50人が参加してくれました。



## 交流会

最初は、様々なところから集まったみんなが仲良く1日過ごせるようにゲームからスタート。

ゲームは小学館レクリエーションリーダーズクラブのお兄さんとお姉さん(リーダー)が指導してくれました。まずは、リーダーが手をたたいて、たたいた数だけそばの友達と手をつないでグループを作るゲームから。たたく数をドンドン増やしていった大きなグループを作ったら、「今度は違うクラブの友達と!」、「これまで集まらなかった友達と!」とルールが変わっていった、いつの間にか集まったみんなが手をつないでグループになっていました。

次は、集まったグループのメンバーが手をつないだまま「せーの!」で一斉に立ち上がるか挑戦! すぐにできるグループもあれば、苦戦するグループも。みんなで声を掛けあって、アドバイスしあって、ワイワイガヤガヤ。あっという間にお友達になれました!



## クラブの活動報告

### ① 谷津干潟ジュニアレンジャー (千葉県習志野市)

日ごろ取り組んでいる谷津干潟での鳥の観察やゴミ拾い、海外の子どもたちとの交流などを演劇仕立てて楽しく発表してくれました。



### ② 市津・ちはら台自然楽校・ジュニア (千葉県市原市)



荒れた竹林を再生するための奮闘記やカブトムシがたくさん見れるようにするための「宿」作りについて分かりやすく発表してくれました。

### ③ 大和田子ども探検隊 (千葉県市川市)



地域の名産・梨狩りを楽しんだり、市の環境イベントに参加したりと仲間と楽しく活動している様子を発表してくれました。

### ④ 白井こどもエコクラブ (千葉県白井市)

「地球を大切に」をモットーに、身近な地域の環境保全に取り組んでいます。メンバーの自宅の庭の木に3種類の鳥が巣を作って子育てをした様子も発表してくれました。



### ⑤ イオン大網白里チアーズクラブ (千葉県大網白里市)

「植物」を今年のテーマにして「緑のカーテン作り」や「野菜作り」について発表してくれました。今回一番遠くから参加してくれました。



### ⑥ 中央エコキッズ (東京都中央区)

クラブの拠点となっている「中央区環境情報センター」の建物のエコポイントについて発表してくれました。





## 体験活動～谷津干潟ビンゴにちょうせん!～

午後からは自然観察を目的にした「谷津干潟ビンゴにちょうせん!」を他のクラブの友達とグループを作ってグループ同士で競いあいました。

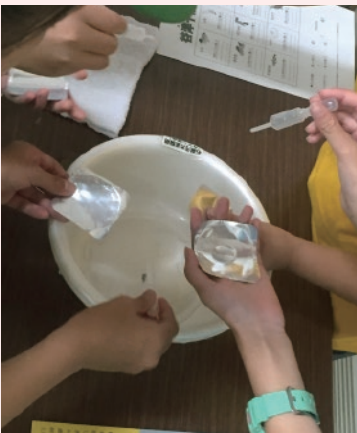
双眼鏡とビンゴカードを持って干潟へ出発。ビンゴカードに描かれた生き物を探しに行きました。カワセミや渡りできたカモ、時々見られるというアカエイを探しました。グループで一致団結、協力し合っの生き物探しを通じて谷津干潟の自然観察を楽しみました。



## 生き物のハイテクを探せ!

最後のプログラムは体験活動「生き物のハイテクを探せ!」。

生き物が持っている機能を参考にして開発された商品のことを知ったり、簡単な実験をしたり、剥製に触れてみたり、ルーペで拡大して観察してみたりして生き物が持っているすごい機能について考えました。



## 谷津干潟自然観察センターの紹介

谷津干潟や公園の身近な自然に親しみ、学ぶことのできる施設です。館内からは谷津干潟が一望でき、備え付けの望遠鏡や双眼鏡で観察を楽しめます。観察フロアにはレンジャーが常駐し、干潟の自然やみずどりかんさつのご案内、さまざまな自然体験プログラムを行っています。センターゾーンには芝生広場や人工の小川があり憩いの場であるとともに、季節の花々など身近な自然を楽しむことができます。

<http://www.seibu-la.co.jp/yatsuhigata/>



## 谷津干潟

谷津干潟は東京湾の最奥部に残された約40haの干潟です。ここには、水鳥をはじめ、貝・カニ・ゴカイ・プランクトンなどたくさんの生き物が生息しています。特に、シベリアやアラスカなど北の国と東南アジアやオーストラリアなどの南の国を行き来するシギやチドリなどの水鳥にとって、渡りの中継地として大変重要な場所となっています。

このため谷津干潟は、水鳥の生息や水の浄化など様々な働きを持つ干潟などの湿地を保全し、ワイズユース（賢明な利用）することを旨とする「ラムサール条約登録湿地」となっています。また、水鳥の保全を目的とする「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ」に参加しています。